

飛騨高山プログラム2015活動報告

ご挨拶

東日本大震災後、2011年の夏休みより始まった「ふくしまキッズ」です。全国の数多くの支援者の皆様のおかげで、5年連続してプログラムを実施させていただいています。そして、2015年夏のプログラムで「ふくしまキッズ」は終了となります。今まで同プログラムをお支えいただきました皆様の温かいご厚情に心より感謝いたします。

さて、東海地方では、2012年の春休みより、高山市教育委員会をはじめ、高山市の実に多くの団体並びに住民の皆様のご支援を賜り、高山市を中心にふくしまキッズを実施させていただいています。

本年の春休みは、福島のパロディの皆様の「より長く転地させたい」「より多様な体験、交流をさせたい」との希望に応え、長期のプログラムで多様な体験の場を設定しました。昨年と同じく、高山へ入る前に各務原で自然体験、集団生活を実施し、互いの友情を芽生えさせて高山へ入りました。高山ではホームステイや高山岳城ライオンズクラブ様主催の活動ではさるぼぼ作製の体験をさせていただき、高山の方々の人情の温かさに浸ることができました。民宿朴葉荘を拠点とした活動では、高山市内小学生の案内による市内散策を体験させていただき、子ども同士の交流ができました。飛騨高山プログラムにはリピーターの子も達が多く、参加者の三割を超していました。名古屋では能楽堂での狂言、全員での絵画作品製作等の芸術体験、切符を購入して地下鉄を活用する都市体験をしました。

放射能の影響でいまだに不便を強いられ、将来への不安を抱えている福島の子もたちが、本プログラムを通して少しでも子どもらしさを取り戻し、そして将来への希望を胸に抱いてくれることを願って実施し、成果を得たと自負いたしております。

この度、ご支援、ご指導いただきました関係各位に心より感謝を申し上げます。

ふくしまキッズ飛騨高山プログラム 総責任者

NPO教育支援協会東海 代表理事

本多 功

ふくしまキッズ飛騨高山2015プログラム活動報告

1. 開催日：3月25日（水）～4月3日（金） （9泊10日）
2. 参加対象者：小学校1年生～小学校6年生 ※全日程参加が条件
3. プログラム内容

『豊かな心で繋げよう未来に』～心おどる感動体験、心を繋ぐ交流～

飛騨高山プログラムでは、テーマ『豊かな心で繋げよう未来に』～心おどる感動体験、心を繋ぐ交流～の達成に向け、東海地区でなければ体験できない活動を計画しています。9泊10日の飛騨高山プログラムは、大きく3つのステージから成り立っていました。

・ 第1ステージは、各務原市少年自然の家での2泊3日の体験活動

各務原市少年自然の家は、木曾川河畔にあり、対岸には国宝犬山城が見えます。桜がちらほら咲き始めた早春の濃尾平野で、野外炊事や野山での遊びを通して、福島仲間、ボランティアの大学生との和を深めました。

・ 第2ステージは、早春の飛騨高山での4泊5日の体験活動

高山市は飛騨の匠、高山祭りで有名ですが、リンゴや桃が栽培され、気候的には福島市、郡山市に似ています。

前半2泊は、高山市内で小学生がいる家庭でのホームステイです。高山の子ども達と兄弟のように寝食を共にし、遊びました。例年、福島子ども達が一番楽しんでいる活動です。また、福島と高山の保護者の方々双方の交流も生まれていました。

後半2泊は、木立と川のせせらぎに囲まれた高山市内の民宿で過ごしました。民宿を拠点とした体験活動をしました。飛騨高山ならではの人情、自然、郷土食を体験しました。民宿では郷土食である朴葉味噌、五平餅や飛騨牛を味わいました。また、高山市内の小学生が、飛騨情緒豊かな古い町並み、高山祭りの屋台等、一日かけて案内してくれ、交流しました。

・ 第3ステージは、桜が満開の名古屋市での3泊4日の体験活動です。

織田信長で有名な桶狭間の古戦場近くの名古屋市青少年宿泊センターをベースに、名古屋市内での体験活動でした。市内の移動は、主に地下鉄を利用し都市生活を体験します。歴史と自然を名古屋城、東山動植物園、技術への挑戦と進歩をトヨタ自動車工場見学で体験しました。

芸術体験では、名古屋市能楽堂で狂言を鑑賞、体験し、子ども達が全身を使いふくしまの心の作品表現をしました。熟議では、未来へ向け羽ばたく心を仲間と共有しました。

最終日は、関ヶ原古戦場近くの垂井町へ移動し、中学生達と遊び、リラックスした気持

ちで福島へ帰ります。

このプログラムを通して、明日の日本を担うふくしまの子ども達が、豊かな自然とのふれあい、温かい人々とのふれあい、活力ある社会とのふれあい、未来へ立ち向かう力を得てくれたと思います。

日 程	午前中の活動	午後の活動	備 考
3月25日 (水)	福島、郡山出発、岐阜羽島経由 各務原市到着	各務原市少年自然の家 約束作り	各務原市少年自然の家
3月26日 (木)	自炊活動	里山探検：小川探検	各務原市少年自然の家
3月27日 (金)	ネイチャークラフト（スプーン作り）	各務原市～高山市へ移動（バス）	ホームステイ
3月28日 (土)	高山ライオンズクラブ主催の活動	ホームステイ先での活動	ホームステイ
3月29日 (日)	ホームステイ先での活動		民宿 朴葉荘
3月30日 (月)	飛騨高山の町散策：グループ別行動		民宿 朴葉荘
3月31日 (火)	高山～名古屋へ移動（バス）	トヨタ自動車工場見学	名古屋市青少年宿泊センター
4月1日 (水)	名古屋城：能楽堂等	東山動植物園、リニア鉄道館、名古屋市科学館（グループ別行動）	名古屋市青少年宿泊センター
4月2日 (木)	遊び（大高緑地）、熟議	芸術体験	名古屋市青少年宿泊センター
4月3日 (金)	垂井町の小・中学生との交流	岐阜羽島からふるさと福島、郡山へ	

4. 子どもたちの主な活動場所・宿泊場所

- ◇ 各務原市立少年自然の家：〒509-0143 各務原市鷺沼小伊木町4丁目213 ☎ 058-370-5258
- ◇ 民宿 朴葉荘：〒506-2115 岐阜県高山市丹生川町小野457-2 ☎ 0577-79-2523
- ◇ ホームステイ：岐阜県高山市内の小学校の保護者
- ◇ 名古屋市青少年宿泊センター：〒459-8001 愛知県名古屋市緑区大高町蝮池4-6 ☎ 052-624-4401

5. 運営の体制について

- 総責任者 本多 功（NPO法人教育支援協会東海代表）
- 連絡先事務局 名古屋市西区南川町297 ☎ 052-505-4900
- 現地担当者 高橋 忠明 ☎ 090-8557-6493
白井 幸子 ☎ 090-1472-0959

- プログラム・安全管理責任者 本多 功 (NPO法人教育支援協会東海 代表理事)
鈴村 仁孝 (一般社団法人ふるさと体験飛騨高山 事務局長)
白井 幸子
寺島 弘子
- 引率責任者 (カウンセラー) 西尾 真由美 (NPO法人教育支援協会東海 専務理事)
☎ 080-5130-2403
- 学生ボランティア：計16名
- 高山市赤十字病院 高山市天満町3-11 ☎ 0577-32-1111
東海中央病院 各務原市蘇原東島町4-6-2 ☎ 058-382-3101
南生協病院 名古屋市緑区大高町平子36 ☎ 052-625-0373

6. 移動について

- 往 路： JR 福島駅・郡山駅より、東京経由岐阜羽島駅まで新幹線で移動
岐阜羽島駅から各務原市少年自然の家までバスで移動
各務原市少年自然の家から、高山市内までバスで移動
- 復 路： 高山市内民宿から名古屋市青少年宿泊センターまでバスで移動
名古屋市青少年宿泊センターから岐阜羽島駅までバスで移動
岐阜羽島駅から東京経由JR郡山駅・福島駅まで新幹線で移動

7. 往路について

【集合場所、時間】 3月25日 (水)

- 福島駅 8時00分 集合/受付開始 8時35分 発
- 郡山駅 8時15分 集合/受付開始 8時49分発 (やまびこ124号) ⇒東京駅 (10時08分着)
東京駅 (乗り換え移動25分) 10時33分発 (ひかり509号) ⇒岐阜羽島駅 (12時29分着)
- 到着場所：各務原市立少年自然の家
- 想定移動時間：5時間ほど
- 現地到着予定時間：13時30分頃

8. 復路について

【解散場所/時間】 4月 3日 (金)

- 岐阜羽島駅 14時14分発 (ひかり552号) ⇒東京駅 16時26分着
- 東京駅 (乗り換え移動26分) 16時36分発 (やまびこ147号) ⇒
郡山駅 18時00時 到着 解散
福島駅 18時13分 到着 解散
- 想定移動時間：5時間ほど

9. 参加者（子どもたち）からのメッセージ

(4月2日の熟議での発表より抜粋)

■これからの自分

5年 藤井 日和

私は、なぜここにいられ、なぜここにきているのか考えました。

東日本大震災の三月十一日以来、日本中の人々が福島の子たちが元気に外で遊べないだろうかと心配してくれてふくしまキッズというものが立ち上がりました。地震やつなみは、私たちの町をすぐにけしてしまいました。こんなとき、日本の人たちが私たちを、広々とした大地につれていってくれるようになりました。

最初のころはまだ2年生で、ふくしまキッズになぜいられるのか分かりませんでした。でも、今になって思うことは、私たちは支援されているのだなということです。支援されていると思うと、自分に足りない気がします。自分たちだけ助けられてここまで来ているのに、高山の人や愛媛の人、北海道の人たちにはなにもしてあげられないのです。

よく学んでよく遊んで楽しいことをいっぱいいっぱいしてきたけど、逆にこれで良かったのかな？と思っています。

そこで、私は今まで気づけなかったことがありました。それは、ありがたいの気持ちや他の県がこまったときにしてあげられることです。

いままで私たちを支援してくれてありがとうございます。

■これからの自分

3年 村松 さくら

私は、ふくしまキッズにさんかしたのは今回で9回目です。その9回さんかした中でどのコースも同じだったのが、スタッフさんたちのやさしさや思いやりです。たとえばひだ高山のコースだと、ちゅうさんや、まるねえさんは、いろいろなことをきかくしてくれます。白井さんや、寺島さんは、けがをした人に優しく手あてしてくれます。そして他のスタッフさんたちは、ちゅうさんたちのきかくに合わせたじゅんぴをしてくれます。だけどスタッフさんたちはお金をもらっていません。

スタッフさんたちはお金がほしくて、お金のためにやっている人ではなく、福島のしんさいにあって、苦しんでいる子どもたちのために大切な時間を使ってやってくれています。しかしスタッフさんの中には、子どもから、傷つくような言葉でよべれたりしている人もいます。ですが、いやなことをたくさん言われても、子どもの前ではえがおでいてくれます。それはとてもすばらしい事だと思います。なので、私はそんなすばらしいスタッフさんたちや、子どもたちのために、活動を5年間も続けているみなさんのために、役にたつ大人になります。そして私たちのように苦しんでいる人たちは、これから一人でも出してほしくありませんが、もし、こまっている人がいたら、やさしいスタッフさんを思い出して、その人たちを助けてあげたいです。

■未来への自分

3年 小沢 駿介

ぼくが最初ふくしまキッズにさんかしたときは2年生の春でした。でも、さいしょの方はとてもこわかったです。で、今は友達もたくさんつくれるようになったし、友達を大切にしてスタッフともなかよくなれるようになりました。

一番楽しかったのは、ホームステイです。

ホームステイでは、自分の家ではなくほかの人の家にあがったりとまったりするので、きんちょうしました。でも、今はホームステイでも友達を作れるようになりました。ホームステイはあつというまででした。なので、これからはもっと元気いっぱい遊んで、ホームステイの人ともっともつとなかよくなれるようにしたいです。

一番楽しかったプログラムはぎふ高山プログラムです。それで、ぎふ高山プログラムにさんかしてから、とても元気になりました。

それからふくしまキッズにずっとさんかしたいなと思いました。でも、ふくしまキッズは、しんさいから5年しかやらないと聞いて少しがっかりしてしまいました。でも、くいのないようにすごせたらいいです。そして、スタッフさんのようにやさしく元気に子どもたちをささえてあげたいです。

■これからの自分

4年 新田 陽菜

私は、全体のふくしまキッズを通してこれからの自分はこうしたいという意見を持ちました。

それは、人の役にたちたい、ということです。なぜかと言うと、全体のふくしまキッズでは、大人のボランティアさん、大学生のボランティアさんが、お給料ももらわないで、私たち子どものために、お世話をしてくれているからです。また、ケガをしたら、すばやくかけつけてくれたり、重い荷物をいっしょに持ってくれたり、野外炊事のときに、いっしょに野菜の皮をむいてくれたり、切ってくれたりしてくれました。私はとてもうれしかったし、助かりました。私はあらためてボランティアをしてくれてよかったなと思いました。

私も福島に帰ったら、家族のことを助けてあげたり、友達のことを助けてあげたり、福島のみんを助けてあげたり、少しでもみんなの役にたてたらいいなと思いました。これからの自分がこうだったらいいなと思いました。

みなさんありがとうございます。とても感しゃしています。私が大人になったらボランティアのみなさんにおんがえししたいです。まっいてください。

■これからの自分

3年 鈴木 ひなた

私は、助け合いが大事だと思いました。それは、2011年3月11日の大きいじしんがあったからです。そのえいきょうで、ほうしゃのうがはっせいして、外で遊ぶ心配がいろいろありました。でも、子どもたちのために、ほかのちいきの人々の助け合いで子どもたちも元気に遊び、学びがいろいろできました。

もし、しんさいがあったのに、ふくしまキッズがなかったら私たちはどうなっていたんだろうと思いました。みんなの助け合い、やさしさで、せいちょうしていけたんだなと思いました。あと、ふくしまキッズのおかげでお家のお手つだいがすすむんだなと思いました。これから私もちいきの人々みたく助

け合いをしたいなと思いました。

先に帰っちゃったスタッフさんには言えなかったけど、自分の心の中で聞かせたいなと思いました。

■これからの自分

2年 大ごえ 遼人

ぼくが思ったことは、チュウさんが、よるおそくまで、ちかてつのきっぷを買ったりしてくれてかんしゃしています。いつもぼくたちに、たのしいことや、いろいろなことをぼくたちがねているあいだにかんがえてくださり、ありがとうございます。まだ、いっぱいしても、いろいろなことをまんでいきたいとおもいます。ふくしまにかえたら2年生です。だからかけざんもいろいろけいさんをがんばってみたいです。

■これからのじぶん

2年 ほしの ここみ

わたしは、いろんな人のいいところをみました。スタッフの人たちが子どものめんどうをいっぱいみて、わたしもスタッフの人たちみたいになりたいです。そしてチュウさん。チュウさんはキップをおごってくれたのでそうゆう大人になりたいです。あとは、ホームステイのお家の人たち。

チーズピザづくり、ぎょうぎづくりもしてよかったことは、家ぞくで力をあわせて、ごはんをつくっていたので、私も大きくなって、そういう家ぞくになりたいです。

■これからの自分

3年 十林 悠

ぼくは大人になったら、ふくしまキッズのように東日本をしえんして、東日本大しんさいにあった人たちに笑顔になってほしいです。

今ぼくが東日本にできることは、ぼ金して福島県をふっこうしたり、木の実などを植えてしんさいの前の時よりも自ぜんゆたかにして、大人になるころにはちゃんとふっこうさせて、しんさいにあった人たちに安心してもらいたいです。

東日本大しんさいの前よりも、福島県、東日本をすごくいいところに使いたいです。

■これからの自分

6年 瀬谷 愛梨

私は、これまで10回ほどふくしまキッズに参加させてもらいました。たくさん地域でたくさんボランティアさんや、友達に出会うことができました。

私は、震災当初、外で遊ぶことができませんでした。そのころ私は2年生で、どんなに説明してもらっても「放射能」というのがどういうものなのか理解することができませんでした。車で外に出るのがとてもうれしかったことを覚えています。

その時に友達にさそわれて、初めてふくしまキッズに参加しました。私は外で遊べるのがうれしくてたくさんの人に出会えるのが楽しくて、何度もふくしまキッズに参加していました。行く先々で、私達福島の子どものことをいやな顔をせずたくさんの人があたたかくむかえてくれることがとてもうれしかったです。ふくしまキッズに参加するたびにたくさんの人が福島のことを心配してくれていのだと実感しました。

私は、たくさんの人達がいろいろな形で福島のことを応援してくれていると知り、私もどこかで困っている国や人がいたら、福島を応援してくれた人たちみたいに、たくさんの人に元気になってもらえるように一生けんめい応援したいと思います。

そして、大きくなったら、福島のことを支える力になりたいです。

■これからの自分

6年 渡邊 碧

私が、ふくしまキッズを通して学んだことは、友達を大切にすることです。

ふくしまキッズでは、同じ学校や学年の人だけではなく、違う学校で違う学年の人達が参加します。なので、初めて会う人がたくさんいます。ふくしまキッズで、たくさんの友達といろいろな場所で遊び、活動班もできます。そこでたくさんの友達ができます。仲良くなった友達と福島県に帰ってからも、電話をし合ったり、手紙のやりとりなどもします。

何度もふくしまキッズに参加させてもらっているうちに友達を大切にすることを知りました。

これからの自分は、ふくしまキッズで学んだ、友達を大切にすることを知り、心にきざんで生活していきたいと思いました。

これからも、友達を大切に、友達をたくさんつくっていきたいです。ふくしまキッズで学んだことを、これからの自分に生かしていきたいです。

10. 保護者様からのメッセージ

■匠・葵の父

今回、飛騨高山プログラム説明会時より「旅のしおり」まで準備して頂き、本当にふくしまキッズの子供達に楽しんで欲しいとの皆さま思いが伝わって来ました。又、事前の準備もとてもきちんとされていることに感心しました。今回のプログラムには、2泊3日のホームステイもあり、息子達が御迷惑をお掛けしないかととても心配でした。しかし、出発前から、ホームステイ先のご両親から、食事の好き嫌いの心配や、洗濯のこと等電話やメールで御連絡頂き、心配は半減し、逆に「ありがたい気持ち」でいっぱいになりました。送り出してからも、スタッフの皆さまから、ブログに「沢山の笑顔」を載せて頂き、準備の疲れや送り出してからの心配も吹っ飛んでしまいました!!プログラムも、子供達に体験させたいとの皆さまの思いが沢山詰まった内容で、息子達も本当に楽しめました。本当に皆さま方の思いやりの詰まった「飛騨高山プログラム最高」でした。息子達も、皆さま方の思いやりに触れ、優しい思いやりのある人間に育ってくれると信じています。(思いがあふれ長文になってしまいました…。)ありがとうございました。

■大越 遼人 父

息子がいろいろとご迷惑をお掛けしたことと思います。ブログでの姿は元気そうで、頭部打撲についても問題はなさそうだと思っておりました。夜尿について、御迷惑をお掛けしたと思いますが大丈夫だったのでしょうか？本人もショックで元気がなかったのだと思いますが・・・現在は新幹線の中だと思います。元気な姿で郡山に帰って来てくれると思っています。スタッフの皆様にはいろいろご迷惑をお掛けしました。感謝申し上げます。

あと2時間後、郡山駅でお待ちしております。よろしくお願いいたします。

■星野実々・心実 母

10日間お世話になりました。ブログで毎日楽しそうに過ごしている二人を見て、飛騨高山に参加させてもらい良かったと思っていました。心実について、連絡ありがとうございます。私も本人もそこが心配で夏と冬は申し込みを見送っていたところもあり、心配していました。本人は、他の子に知られるのが一番不安だったようなので、ご迷惑をおかけしましたが、スタッフの方の機転、本当に感謝いたします。ありがとうございました。

今日帰ってきたら、たくさん話を聞いて褒めてあげたいと思います。本当にありがとうございました。

■壱飛母：近藤由紀子

この度は息子・壱飛が大変お世話になっております。

左足首の件、了解いたしました。普段、あまり歩かない子なので、今になって疲れが出てきたのかな…。靴も直前に新調したばかりだったので、慣れない靴で、余計そうなったのかも。かえって手を煩わせてしまい、申し訳ございません。

明日の大移動…お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

明日、郡山駅で元気な壱飛に会えるのを楽しみにしています。

<活動期間中のブログより>

■ななちち

まる姉さん。御引率ありがとうございます。こうして又絆が深くなったのですね。飛騨高山は娘の第2の故郷になりました。

■あきと母

10日間本当にお世話になりました。ほんと、大きくなって帰ってきました。思い出話がもう止まりません・・・！よほど楽しい毎日だったと思います。

ホームステイの御家族やスタッフの皆様には、本当にありがとうございました。

■はやた

みんな元気に帰って来ることができました。まるねえさん、往復の引率お疲れ様です。おかげ様で今回もまた一段と成長できた春休みとなったと思います。帰り、くれぐれもお気をつけて。またの再会を楽しみにしています。

■あおいママ

本当にお世話になりました！ふくしまキッズがなかったら岐阜に行くことはなかったかもしれない！とても仲良しの方もできたようだし、楽しかったようです。また皆さんとお会いしたいですね～ ありがとうございます！！

■はやた

満開の桜に、毎回楽しみにしていた芸術の時間、心も身体もたくさん充電出来たことでしょう。あっという間にもう帰宅が近づいてきました。スタッフの皆様、お疲れのことと思いますがもう少しよろしくお願いいたします。

■優&結の母

お世話になっております。飛騨高山でのすてきな楽しい思い出がぎっしりの素敵な作品ができましたね。今日、子供たちからの葉書が届きました。ホームステイ先の子供たちと遊んだこと、高山ラーメン、団子が美味しかったこと……。とても楽しいという気持ちが伝わってきました。いよいよ明日はお別れの日です。このような素晴らしい機会を与えていただき、本当にありがとうございます。

■あおいママ

今日は娘にお祝いしてくれてありがとうございます。とても良い記念になったと思います。明日で終了ですね、あっという間でした。最後まで無事に楽しんでほしいです！

■うたママ

お世話になっております。今日も素敵な1日をありがとうございました。とても貴重な体験。ママが体験してみたいです(笑)帰ってきたら、息子に教えてもらいます！

福島の子ども達を支援してくださる皆様。お忙しい中、本当にありがとうございます。この沢山の方々との出逢いと経験が、福島の子ども達の支えとなっていくと思います。

プログラムもあと2日です。ご迷惑おかけしますが、よろしくお願いいたします。

■遼人・母

お世話になってます。能楽堂素敵ですね！！大変貴重な経験をさせていてくださいますね。初めて見る世界がどのように映っているのか、帰ってきてからどんな話しをしてくれるのかとても楽しみです。電車での移動、大変だったと思います(^_^;) 遼人は電車が大好きなので、気持ちが電車にばかり向いていたのではないかと心配ですが。。

スタッフの皆さん、いつも本当にありがとうございます！ブログもとても楽しみに拝見しています。プログラムもあと2日、よろしくお願い致します(^_^)

■優&結の母

朴葉荘の皆様、3年間、ふくしまキッズの活動を支援してくださり、本当にありがとうございました。いつも美味しそうな郷土食、子供たちがうらやましいです。今度は家族で是非利用させていただきます。ありがとうございました。

■優&結の母

お世話になっております。天気もよく、散策日和だったようですね。高山ラーメン、食べたかな～。お土産何を買ったのかな～。
高山教育委員会の皆様、高山の小学生の皆さん、本当にありがとうございました。

■遼人母

お世話になってます。本日も元気に活動しているようですね！
天気もよく、市内散策するには最高ですね！ふくしまキッズパスポート！すごいです！高山の皆さんのご協力に本当に感謝です。ありがとうございます。
そろそろ疲れが出てくる頃でしょうか。まだまだ元気があり余っていますでしょうか…
プログラムもあと半分…宜しくお願い致します！

■ひなた、ひかり母

ホストファミリーの皆様へ

3日間大変お世話になりました。ご家族の方とも仲良くさせていただき、いろんな体験もして我が家のようにくつろぐ姿を見て、とても充実した3日間を過ごしていたのだと実感いたしました。何かとご迷惑をお掛け致しましたが、受け入れていただき、子供たちに新しい出会いの機会を作っていただいた事に心より感謝いたします。
ありがとうございました。

■優&結の母

お写真ありがとうございます。うちに居る時のようにくつろいで、笑い声が聞こえてきそうです。あらあら、洋服脱ぎっぱなし…。

■あきと母

ホームステイも終わり、民宿で元気な食事姿を発見!!元気そうで安心しました。
美味しそうな飛騨牛ですね～。残り半分も元気いっぱい楽しんできてね！
スタッフの皆様、どうぞよろしく申し上げます。

■ななちち

ホームステイお受け入れ御家族御中

ステイ中の様子、連絡いただきありがとうございました。本人、とても充実した表情をしています。
ありがとうございました。

■優&結の母

ホストファミリーの皆様

三日間大変お世話になりました。送迎までしていただき、本当にありがとうございます。子供たちにとってとてもよい経験ができたと思います。うちの子供たちは男の兄弟、お姉さんと一緒に生活にとっても慣れていました。貴重なお休みをふくしまの子供たちを受け入れてくださり、本当にありがとうございました。

■みみ&ここみ母

ホストファミリーのご家族様

昨日まで本当にお世話になりました。笑顔で民宿に戻っているblogをみて、ホームステイも楽しんだんだと思います。ご迷惑もたくさんお掛けしたかと思いますが、貴重な経験をさせていただき、また温かく迎えていただき、本当にありがとうございました。

■優&結の母

お世話になっております。

天気もよく、散策日和だったようですね。

高山ラーメン、食べたかな～。お土産何を買ったのかな～。

高山教育委員会の皆様、高山の小学生たちありがとうございました。

■ひよ母

飛騨高山の皆様、お世話になっております。なかなかコメントできずすみません!!

ブログで娘の楽しんでいる様子を見て、こちらも一緒に体験できている気になっています!

ホームステイでお世話になったホストファミリーの皆様、お忙しい中引き受けてくださりありがとうございました。毎回ホームステイを楽しみにできるのは、皆様のキッズの子たちを想う気持ちが伝わっているからです。

本当に感謝の気持ちでいっぱいです。おかげさまで、娘は、その後のプログラムにも元気に参加しているようです。ありがとうございました。残すところ3日になりました。

スタッフの皆さん、お疲れも出てきているとは思いますが、もう少し、よろしく願います。

■さくら母

スタッフ、ボランティア、ホストファミリーのみなさま毎日素敵な体験をさせていただきありがとうございます。

ブログを見るたびに、この体験は子どもを成長させてくれるし、心にずっと残るものだなあと感じています。プログラムも食事も、優しさが伝わってきます。ありがとうございます。残り3日間も、どうぞよろしく願います。

■うたママ

針も糸も持つのは初めての息子。貴重な経験をありがとうございます。息子が作ったさるぼぼ、すっごく嬉しいです!楽しみにしています!

明日からもまた、よろしく願います。

■優&結の母

高山名物”さるぼぼ”！上手にできたかな～？お土産楽しみにしています。

■優&結の父

絶景！天気にも恵まれて写真見るだけでもすばらしい景色なことがわかります。子供からの土産話が楽しみです。引率頂いている方々ありがとうございます。

■はやた

ボランティアのお兄さん、お姉さんとお別れ、ホームステイのご家族との出会い、どちらも感謝の気持ちを忘れず、心を込めてできているかな？言葉では言い表せない事はキラキラ笑顔で伝えられていたら良いなと願っています。

スタッフの皆様、睡眠はとれていますでしょうか？

まだまだ中盤、お疲れがでませんように。

■優&結の父

お写真ありがとうございます。男友達同士、にぎやかで楽しそうですね。ご迷惑のかからない程度に皆でワイワイ楽しく過ごしてほしいです。でも何か失礼なことありましたらビシッとお願いします。

■優&結の母

ホストファミリーの皆様

子供たちを受け入れてくださり、本当にありがとうございます。楽しく交流させていただき、感謝感謝です。写真もありがとうございます。

ちょっとまだ緊張しているかな・・・。

ご迷惑お掛けしますが、よろしく願いいたします。

■あきと母

昨日からホストファミリーの方々にお世話になっております。どうぞよろしく願いします。緊張した顔が、なんとも言えない感…。福島にいたら絶対に体験出来ない貴重な日々を、思いっきり楽しんでくれる事を、陰ながら応援しております。

■優&結の母

各務ヶ原大学生ボランティアの皆様。

子供たちが大変お世話になりました。みんな初対面で緊張していたことと思います。やさしい笑顔で迎え入れ、一緒に遊び、見守ってくれて皆心強かったと思います。

本当にありがとうございました。

■つむぎ・すみれの父親

ボランティアの皆様へ

お世話になっております。また、各務ヶ原のボランティアの皆様、お世話になりました。活動の写真から、大変元気そうな姿を見ることができました。たくさんの方々に支えられていることを感じます。ありがとうございました。

■もか 母

お世話になってます！

いろんな体験をしてとてもありがたく思います！ご指導していただいている方々、お疲れではないでしょうか？ありがとうございます！

写真楽しみに見えています。よろしくお祈いします。

■優&結の母

今日も一日お世話になりました。写真UP ありがとうございます。

みんなで作って、晴天の中みんなで食べるカレー、飯盒ご飯も美味しそう。山登り探検も楽しそう。明日は高山へ。ホームステイ大丈夫かな……。母がドキドキです（汗）

お世話になります。よろしくお祈いいたします。

■あきと母

おいしそうにカレー食べている姿を発見!!元気に過ごしていて安心しました。

■いと母

宿舎に無事、到着とのこと…安心いたしました(^-^)イトは果てしなくマイペースなので、私達の方がハラハラしてしまいます（笑）毎日、ドキドキしながらブログチェックさせていただきますネ！

手のかかる息子ですが、どうぞよろしくお祈いします。

■あきと母

今朝別れたはずなのに、もう息子の写真を見つけてジーン・・・涙。先が思いやられるのは母の方かもしれませんが……。無事に到着したとのこと、ひと安心です。10日間どうぞよろしくお祈いします。

■優&結の母

お世話になっております。無事、岐阜入りしたのですね。朝早くから子供たちのアテンドありがとうございます。東京駅での乗り換え、我が家の子供たちは初めてなので大都会大丈夫だったかしら…。出発前、緊張気味だった子供たち。笑顔を発見できて、楽しそうです。10日間どうぞよろしくお祈いいたします。楽しみにしています。

■遼人母

お世話になります。遼人の母です。無事に乗換えができたようで安心しました。

今朝、咳が出ていたので、朝も寒く心配でしたが、天気も良くなってきたので大丈夫そうですね。初めての飛騨高山なので、少し緊張していたようですが元気に出発してくれたので一安心です。これから10日間、宜しくお願い致します。

■優&結の母

お世話になります。優&結の母です。今回、妹が初めて参加します。

素敵かわかりやすい”しおり”ありがとうございます。毎日、しおりを見ながら親子でシミュレーションしています。ちゃんと約束事を守ってみんなと一緒に行動できるかな～。心配はつきませんが、子供たちを信じて送り出します。

高山の皆さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

11. ボランティアスタッフからのメッセージ

■土方 美咲

ふくしまキッズに初めて出会った時、本当に元気いっぱい、その姿は被災した事を思わせのないような姿でした。しかし、1日目のスタッフミーティングで、ふくしまキッズの子供たちや、その保護者の方達の手紙を読み、まだ震災後の生活の変化は大きく残っているのだと感じました。原発爆発事故によって、友達と外で思いっきり遊べなくなってしまうことや、好きな牛乳を飲むことができなくなってしまったことなど、制限のある中で生活を送っていることを感じました。

「ふくしまキッズ」というプログラムには、子供たちに思いっきり外で遊べる自由や、様々な体験ができる楽しさを作り出していると思いました。そんな活動に参加させていただいて嬉しかったです。ふくしまキッズと過ごした期間は短い間でしたが、私はふくしまキッズをとっても愛おしく感じています。これからも、健康にのびのびと育って行って欲しいです。「ふくしまキッズ」に出会えたことに感謝します。

■菊田 優太郎

子供たちとの9泊10日間はとても楽しく学ぶことの多いものとなりました。その中でも1つの印象に残っていることがあります。それは、子供の成長を間近で見ることができたことです。実際、初めはやんちゃだった小学5年生の子が、最後には今は何をするときなのかを自分で考えて行動していました。また、低学年の子供に注意をすることもできるようになっていました。私はこのような子供の成長を見ることで、私自身も成長しなければならないと感じることができました。

このような子供の成長や楽しんでいる子供の姿を10日間も見ることができて本当に良かったです。これからもこのような機会があれば積極的に参加していきたいと思っています。

■岩田 理紗子

私は各務原と名古屋でボランティアをさせて頂きました。

各務原では、自分の準備すら出来なかった低学年の子どもたちが名古屋で再度会ったときには、テキパキと動くことが出来ていたのを見て本当に驚きました。10日間の中で、それぞれに成長が出来たのではないかと思います。グループ行動をする事で、小さい子の面倒をしっかりと見てくれる高学年の姿や一生懸命になってお兄さんお姉さんの真似をする低学年の姿が印象に残っています。

家族のもとを離れて生活することだけでも子どもは疲れた事と思います。そんな中でも小さい子の面倒を見てくれた高学年の子どもには感謝ばかりです。母子家庭である、ということをお話してくれた一人の子がおりましたが、その背景に何があるのかわからなかったので、深く聞けませんでした。寄り添って聞いてあげるべきだったのかな、と考えさせられております。

9泊10日の間に学年も一つずつ上がりました。春休みに家族の元を離れ、初めての経験をし、新しい友達と参加したふくしまキッズは、子どもたちにとって良い経験になったのではないかと思います。私の方も子どもたちから元気もらい、沢山の事を学ばせて貰いました。チュウさんはじめ、白井さんや寺島さん、他のボランティアの方々がいてくださったので、私も無事に終わられたのだと思っております。有難う御座いました。

りくと君が作文に書いてくれていたように、助け合うことは本当に大事です。それに気づいてくれたことが本当に嬉しかったです。日和さんが作文に「私たちは支えられているばかりで何も返せていない」と言っていました。ですが、子どもたちから私は沢山の元気を貰いました。逆に私達は福島のためにもっと出来ることがあるのではないかと考えました。

12. 新聞記事

岐 阜 新 聞 2015年(平成27年)3月31日 火曜日

福島の子と高山散策

児童ら古い町並み案内

高山市を訪れている「1原発事故で被災した福島県」の小学生27人が、30日に市内の小学生の案内で古い町並みなどを散策して交流を深めた。

福島県の子もこちらに放射能汚染を心配せずに春休みを楽しんでもらおうと、NPO法人「教育支援協会(中核)」が、歴史や中山動物園などを案内する「ふくし」

が開催。今回で4回目を迎え、高山市教委などが協力した。

福島県の児童たちは25日に各務原市を訪れた後、27日高山市に到着。岳城ライオンスクラブによる手紙体験教室や、市内の家でホームステイなどを行った。

30日は市内の小学5、6年生が考えたルートに沿って国史跡の高山陣屋や古い町並美術館などを訪問。春の陽気の中、みたらし団子を買って食べ歩くなどして散策を楽しんだ。郡山市の郡山小学校3年、十林(君)は「郡山では見たことがない古い町並みで、歩いていて面白」と話していた。

児童たちは31日から愛知県に移航し、名古屋や中山動物園などを回る「ふくし」を予定する。

(高山大樹)



古い町並みを散策する福島県と高山市の児童たち。市、中核

(第3種郵便物認可)

福島の子 飛騨満喫

高山岳城LCが体験講座

東日本大震災の被災「ふくしまキッズ」が地、福島県の小学生が開かれ、児童二十七人が高山市などを訪れ、飛騨の自然を体験し元住民らと交流している。

市教育委員会などが毎年開き、今回で四回目。二十八日は高山岳城ライオンズクラブ(LC)が市民文化会館に児童を招き、さるぼぼ作り講座を開催。講師やLCのメンバーに縫い方を教わりながら、赤いさるぼぼを丁寧に縫っていた。郡山市の五年生、藤井日和ちゃん(こは)「そんなに難しくなかった。上手にできた」と話した。

児童たちは三十一日まで高山に滞在する。

(清水裕介)



たホードを置き、外国人観光客にする店＝高山市下三之町のまるひや